

令和2年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和元年度)

●基本情報

事業名		大学との連携事業			評価番号	5-1-4-1	
担当課		企画課	係	まちづくり推進係	会計	【01】一般会計	
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり			予算科目	款	【0102】総務費
	基本施策	【1】町民参加体制の充実				項	【010201】総務管理費
	施策	【4】日本ウェルネススポーツ大学との連携強化				目	【01020107】まちづくり推進事業費
	主な取組	①大学との連携事業の推進				事業	大学との連携事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称	
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 24 年度 <input type="checkbox"/> 事業開始年度不明
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり(事業終了年度：令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し <input type="radio"/> 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 ( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 ) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
実施形態	<input checked="" type="radio"/> 町単独 <input type="radio"/> 国・県補助事業 <input type="radio"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="radio"/> その他 ( )		
事業概要	町と日本ウェルネススポーツ大学との連携に関する協定書に基づき、大学との連携事業を実施して地域活性化を図ります。		

●実施 ~DO~

事業業績	<p>日本ウェルネススポーツ大学石田良恵教授に講師を依頼し、公開講座を2回実施しました。また、日本ウェルネススポーツ大学生及び日本グローバルビジネス専門学校生を対象に、学生生活の支援及び商業振興を図ることを目的に「キャンパスライフ応援マップ」を作成し、配布しました。</p> <p>公開講座「膝の故障・腰痛予防のストレッチと筋トレ、筋肉づくりのための食事、女性と骨粗しょう症予防の対策等について、理論と実技(第1回)(第2回)」第1回：令和元年5月31日(金)、第2回：令和元年12月13日(金)</p>				
事業費	区分	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	
	財源内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	176,942 円	221,906 円	183,983 円
事業費計	176,942 円	221,906 円	183,983 円		

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 連携事業の実施により、相互の活性化が図られていると考えます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 大学連携においては、町と大学が主体的に取り組むことが必要であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 公開講座については、多くの町民に参加していただき、講座の受講後のアンケートでも好評な評価を得ています。キャンパスライフ応援MAPについても、学生に対する町内店舗の利用促進に寄与しており、見直しの必要はないと考えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 日本ウェルネス大学は、町内唯一の大学であり、今後も連携してまちづくりに取り組むことが重要であると考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 現状の事業費で適正と考えます。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大    ) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止 (終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 引き続き、大学と連携して事業を実施し、地域活性化を図ります。